

## 令和6年度 子ども科学技術人材育成事業委託業務公募に係る質問への回答

令和6年4月3日

科学技術振興課

No.	公募要領などの項目	質問内容	回答
1	公募要領P 1 4 業務委託の内容	令和5年度の同事業に関する報告書の閲覧は可能か。	本HPに令和5年度子ども科学技術人材育成事業実施報告書を掲載いたします。
2	委託業務企画提案仕様書P 2 (1) 県内の未就学児から高校生までを対象とした科学体験プログラムについて	沖縄科学技術大学院大学との連携について、沖縄科学技術大学院大学と連携に関する委託契約を行う必要があるか。	令和5年度については、委託契約が必要となる連携は行っておりません。
3	委託業務企画提案仕様書P 2 (1) 県内の未就学児から高校生までを対象とした科学体験プログラムについて	連携する企業は県内企業のみか。	県外企業とも連携していただいて構いません。
4	委託業務企画提案仕様書P 3 (エ) ⑤ 離島：8回	令和5年度に実施した離島を提案してもよいか。	令和5年度に実施した離島を提案しても構いません。ただし、本事業の趣旨から、多くの離島の子どもたちに科学技術に触れる機会を提供できるようご注意ください。
5	委託業務企画提案仕様書P 3 (エ) 対象ごとの実施回数及び実施時間	①～④の未就学児から高校生向けのプログラムと⑤の離島でのプログラムの実施回数については、兼ねてカウントしてもよいか。	兼ねてカウントすることはできません。①～⑤の対象ごとに設定されている実施回数分のプログラムを実施する必要があります。

No.	公募要領などの項目	質問内容	回答
6	委託業務企画提案仕様書P 3 (2) 科学イベントの実施	科学イベントのブース数について、必要最小数は設定されているか。	必要最小数は設けていません。 ただし、ブース数については、多くの方が参加できる科学イベントとなるようご提案ください。
7	委託業務企画提案仕様書P 4 (4) OIST、琉球大学、国際海洋環境情報センター（GODAC）等、公的機関との連絡会（仮称）の設置及び運営	連絡会（仮称）に係る謝金については、県の規程に基づき積算する必要があるのか。	法人独自の規程に基づき積算し、提案いただいて構いません。
8	委託業務企画提案仕様書P 5 8 (1) 実施事項	外部アドバイザーについては、県内の公的機関に所属するサイエンスコミュニケーター等を配置してもよいか。	県内の公的機関から外部アドバイザーを提案しても構いません。